



東京教区災害対応チーム 災害情報・九州北部豪雨

九州 014

九州教区主教 武藤謙一主教から「九州北部豪雨災害被災者支援」に関する情報が東京教区主教に届きました。第一報は東京教区ニュース（7月9日）でお知らせしておりますが、その後も続いた豪雨によって、更に傷つき、悲しみ、不安にある被災地の方々を覚えてご加禱をお願いいたします。

主の平和

暑い日が続いていますがお元気にお過ごしのことと思います。

九州北部豪雨災害の被災地では、連日行方不明者の捜索や流木や土砂の撤去作業が続いています。九州教区として新たに被災者支援室のようなものを設けることはできませんが、来週 24 日(月)～29 日(土)まで、山本尚生兄と久留米聖公教会が中心となって支援活動を行うことになりました。

これについては九州地震被災者支援室のフェイスブックに情報をアップしています。

その後のことについては何も決まっていますが、来週の活動後に考えることにしています。

お祈りのうちにお覚えいただければ幸いです。

また、下記は武藤謙一主教が九州教区内に宛てたものです。

九州北部豪雨の被災者支援のために、お祈りとお協力をお願い

+主の平和

去る7月5日に発生した「九州北部豪雨」の被害は、毎日のニュースで、予想以上に甚大かつ深刻な状況であることが伝えられています。

私は、東日本大震災また九州地震の二つの被災者支援室の責任者として、新たに起こった災害についても、なんとか対応したいと思い、現地の視察、またわずかに支援活動に携わりつつ検討してきました。しかしながら、現段階で、教区として新たに支援室を立ち上げるなどの具体的対応は非常に困難です。

そんな中、室員の一人山本尚生兄と久留米聖公教会が協働する形で、まずは7月24日～29日までの期間で、豪雨被災者支援の取り組みをすることとなりました。

このことを、九州地震被災者支援室の活動を知らせるフェイスブックでお伝えしています。教区の支援室は、この動きをサポートしたいと思います。

*文章は、以下にも転載いたしますのでお読みください。そして各教会でもぜひお知らせください。

フェイスブックには、若干の被災地の様子を知らせる画像もあります。ぜひご覧ください。

主教 ルカ 武藤 謙一

~~~~ \*下記はフェイスブックからの転載（月曜日7月17日12:58）~~~~

九州北部豪雨被災地、活動報告と今後の予定：九州地震被災者支援室室員（久留米聖公教会）山本尚生

7月5日（水）の九州北部豪雨の後、久留米聖公教会信徒やそれぞれの関係の中で被災地の訪問をしましたが、12日（水）にあらためて柴本司祭と視察へ行き東峰村、朝倉方面をまわりました。朝倉市で昼過ぎに土砂で埋まった家の中から冷蔵庫をとりだしている方と出会い「お手伝いしましょう」と声をかけ、その日は2時間くらいそこで作業を手伝いました。

